

カキ生育情報

千葉県
平成29年10月号

平成29年9月の気象

平成29年9月の半旬別の気象を表1に記した。平均気温は、第1及び第2半旬を除く4半旬で平年より高かった。月平均気温は22.5℃で、平年より0.2℃、前年より1.5℃低かった。

降水量は、第1、第4及び第6半旬は平年を上回り、第2、第3及び第5半旬は平年を下回った。月合計は282mmで、平年の112%、前年の118%であった。

日照時間は、第1及び第2半旬を除く4半旬で平年並みか上回った。月合計は134時間で平年の92%、前年の129%であった。

台風18号が9月17日に鹿児島県、高知県、兵庫県に上陸し、18日には北海道に上陸したが、本県への直接の被害はなかった。

表1 平成29年9月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	21.0	24.9	25.9	28	26	15	9	30	37
2	23.6	24.2	25.8	16	45	11	26	28	30
3	24.3	23.5	22.8	12	30	63	26	25	1
4	22.9	22.4	23.3	80	41	82	23	23	7
5	21.6	21.4	21.9	40	50	67	24	21	7
6	21.5	20.4	24.4	108	59	2	26	20	21
平均/計	22.5	22.7	24.0	282	251	239	134	145	104

果実の発育

9月30日現在のカキの果径を表2に示した。横径は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ7.82cm、7.16cm、「富有」が7.50cmであった。本年の横径は、「西村早生」では平年より2%大きく、前年と同程度であった。「松本早生富有」では平年より1%、前年より3%小さかった。「富有」では平年より6%大きく、前年より2%小さかった。

縦径は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ5.61cm、5.10cm、「富有」が5.50cmであった。本年の縦径は、「西村早生」では平年より2%、前年より1%大きかった。「松本早生富有」では平年と同程度で、前年より6%小さかった。「富有」では平年より3%大きく、前年より2%小さかった。

果形指数は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ1.39、1.41、「富有」が1.36であった。本年の果形指数は、「西村早生」及び「松本早生富有」では平年より小さくやや縦長の傾向であり、「富有」では平年より大きくやや横長の傾向であった。

暖地園芸研究所では、「西村早生」が平年より1日遅い9月19日に収穫が始まった。

表2 果実の発育（9月30日の果径）

品 種	調 査 地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	いすみ市	7.62	7.62	7.59	5.58	5.50	5.43	1.36	1.39	1.40
	暖地園研	8.02	7.72	8.09	5.64	5.48	5.66	1.42	1.41	1.43
	平 均	7.82	7.67	7.84	5.61	5.49	5.55	1.39	1.40	1.41
松本早生 富有	市 原 市	6.38	7.07	7.12	4.53	4.91	5.36	1.41	1.44	1.33
	暖地園研	7.93	7.33	7.60	5.66	5.27	5.48	1.40	1.39	1.39
	平 均	7.16	7.20	7.36	5.10	5.09	5.42	1.41	1.42	1.36
富有	暖地園研	7.50	7.08	7.62	5.50	5.35	5.61	1.36	1.32	1.36

果形指数：横径／縦径

平年：暖地園研は1990年～2016年の平均、いすみ市、市原市は1998年～2016年の平均
「西村早生」は暖地園研では一部収穫済み、いすみ市では全て収穫済み

10月の作業

収 穫

中晩生種の収穫時期を迎え、収穫が本格化する。カキ本来の味を消費者に提供するためには、早採りを避け、適期収穫を心がける。収穫前にはカラーチャートを用い、適熟の色を必ず確認する。収穫はなるべく果実が乾いた状態で行い、収穫した果実が濡れている場合は必ず風乾する。収穫、選果、調製作業の際には、果実をていねいに扱うことが大切である。選果は厳格に行い、へたすきの程度が大きい果実や傷のある果実は、軟化しやすいので出荷しない。

追 肥

貯蔵養分の多少は、翌年の樹の生育と着花量を左右する。貯蔵養分を蓄積させるため、礼肥を施す。「西村早生」などの早生品種では収穫直後の10月中旬頃、「松本早生富有」、「次郎」及び「富有」などの中晩生品種では10月中下旬頃を目安に、速効性肥料で施用する。窒素の成分量で、年間施肥量の15%程度となる10a当たり2～3kgが適当である。

病虫害防除

カキノヘタムシガや枝幹害虫類の発生が多い園では、落葉直後に粗皮削りを行い、潜んでいる幼虫を捕殺する。粗皮削り後は枝幹保護剤を塗布するとよい。害虫の発生が少ない園では、12月以降(休眠期)でよい。これらの防除は、千葉県農作物病虫害雑草防除指針に基づいて行う。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>